

令和6年度 研究授業

社会科(歴史的分野) 学習指導案

令和6年 9月27日(金)・3校時

【授業者】兼定 亮太

【单元名】「ギリシャ・ローマ文明」

～ヨーロッパでめばえた文明～

【学年・組】1年2組

【場所】1年2組教室

三原市立第五中学校

1年2組 社会科(歴史的分野) 学習指導案

【指導者】兼定亮太【単元名】ギリシャ・ローマの文明 ～ヨーロッパでめばえた文明～

単元観について

本単元は、平成29年公示の中学校学習指導要領の歴史的分野大項目「B 近世までの日本とアジア」、中項目(1)古代までの日本を受け設定した。この中項目は以下の力を身に付けることをねらいとしている。

(1) 古代までの日本

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 世界の古代文明や宗教のおこり

(イ) 日本列島における国家形成

(ウ) 律令国家の形成

(エ) 古代の文化と東アジアとの関わり

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(エ)までについて古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ) 古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。

歴史的分野の目標は、「社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す」としている。今回取り扱う単元のギリシャ・ローマの文明については、事象を精選し、民主政や共和政など政治制度を中心に扱うようにする。その際、当時の政治制度について、現代につながる面と現代の民主主義とは異なる面の両面を踏まえて理解できるようにするなど主権者の育成の観点にも留意するとしている。本単元は、日本の政治をギリシャの政治制度やローマの政治制度と比較することで、「平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力」を育成させることができる単元である。

生徒観について

本学級の生徒は、挙手が多く、社会の授業に意欲的に参加するという生徒が多くいる。本学級の生徒に実施したアンケートによると「歴史の授業が好きか」という質問に対し「当てはまる」や「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒は7割を超えている。グループワークの際には、積極的に自分の意見を発言するなど、主体的に協働学習に取り組むことができる生徒が多い。

一方で、令和6年度に実施した実力テスト(TSP)では、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」の得点はどちらも35点であった。このことから本学級の生徒は、基本的な知識・技能を定着させる学習と、資料の分析等を通し「なぜこの事象が起こったのか」など歴史の繋がりの系統的な理解を図る学習指導を行っていく必要があると考える。

指導観について

指導に当たっては、以下の2点のことに留意したい。まず一つ目は、「単に知識の習得を目指すのではなく、習得した知識をどう活用するか」の指導を行うことである。まず、小単元では歴史資料を基に人類の進化の移り変わりや古代文明、宗教が起こった場所や位置などに着目させる。次に事象を相互に関連付け、習得した知識を基に問いを多面的・多角的に考察させていくよう指導したい。その際「なぜ世界各地で文明が築かれたのか？」や「ギリシャやローマの政治と日本の政治の違い」など細かな問いを立てながら進めていく。習得した知識を基に問いを多面的・多角的に考察させていくよう指導したい。

二つ目は、ICT 機器を積極的に活用した協働学習の展開である。地理の授業では、jamboard を使い情報を整理し、まとめる作業を行ってきた。歴史の授業でも引き続き ICT を効果的に活用できるように指導していきたい。本時では、インターネットや教科書、資料集で調べた必要な情報をまとめ・整理させることで、グループ内でより活発な意見交流ができると考える。

小単元の目標

- 人類の誕生や世界の古代文明や宗教の起こりを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、世界各地で文明が築かれたことを理解している。【知識・技能】
- 人類の進化の移り変わりや古代文明や宗教が起こった場所などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界各地で文明が築かれたことについて多面的・多角的に考察し、表現している。【思考・判断・表現】
- 資料から人類が誕生した時代の前後を比較することを通して、古代までの日本について見通しをもって学習に取り組み、課題に対して、追究しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

指導と評価の計画

(1) 小単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| ①古代までの日本の大きな流れを、世界の歴史を背景に、時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 | ①古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや東アジアとの交流と天皇や貴族の政治文明の変化などに着目して事象を相互に関連付けるなどして、古代までの社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 | ①資料から人類が誕生した時代の前後を比較することを通して、古代までの日本について見通しを持って学習に取り組もうとしている。 |

(2) 単元指導計画 (全 5 時間)

| 次 | 学習内容 ※全ての時間で ICT を活用 | 時間 | 評価規準 | 評価の観点 | | | 評価の方法 |
|--|---|----|--|--------|-------------|-------------|---|
| | | | | 知 技 | 思 判 表 | 主 学 態 | |
| 1 | ・ 人類の出現 人類の誕生と進化 農耕と牧畜の始まり | 1 | ①人類が猿人、原人、旧人、新人へと進化してきた過程をつかみ、それぞれの段階の特徴を理解している。 (知・技) ①人類の暮らしについて、新石器時代の気候の温暖化と関連付けて採集・狩猟生活から農耕・牧畜生活へ変化したことを考え表現している。 (思・判・表) ①資料から人類が誕生した前後を比較し古代までの時代についてどのような時代だったのか主体的に追究しようとしている。 (主学態) | ◎ | ○ | ○ | ・ ワークシート ・ 振り返り ・ 行動観察 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>★単元を貫く問い</p> <p>「世界各地で築かれた文明は、どのようにして誕生したのだろうか？」</p> </div> | | | | | | | |
| 2 | ・ 古代文明の誕生 文明の始まり メソポタミア文明 エジプト文明 インダス文明 | 1 | ①メソポタミア文明、エジプト文明、インダス文明などがいずれも農耕・牧畜が発展しやすい大河の流域で起こったことを理解している。 (知・技) ①それぞれの古代文明に文字の使用や都市の建設がみられたことなど、共通する特徴を考え、表現している。 (思・判・表) | ◎ | ○ | | ・ ワークシート ・ 振り返り ・ 行動観察 ・ jarmboard |
| 3 | ・ 中国の文明と東アジア世界 中国の文明 統一国家の誕生 朝鮮半島の国々 | 1 | ①各時代の特徴について、国家が領土や支配地を治めるために整えた仕組みの変化を捉えて理解している。 (知・技) ①万里の長城が国を守るために築かれたことや、シルクロードが開かれたことで各地の文物が運ばれ、その文化が周辺の国々へ影響を与えたこと考え、表現している。 (思・判・表) | ◎ | ○ | | ・ ワークシート ・ 振り返り ・ 行動観察 |
| ④ | ・ ギリシャ、ローマの文明 都市国家の成立 アテネの民主政治 ヘレニズム時代 ローマ帝国の繁栄 【本時】 | 1 | ①古代ギリシャやローマの政治の仕組みや文化のまとまりを理解している。 (知・技) ①古代ギリシャの民主政治やローマの共和政を日本の政治制度とを比較し何が違うのか自分の言葉でまとめることができているか。 (思・判・表) | ○ | ◎ | | ・ 振り返り ・ 行動観察 ・ jarmboard |
| 5 | ・ 文明と宗教 宗教のおこり 仏教 キリスト教 イスラム教 | 1 | ①三大宗教について、起こった地域や広まっていく過程に着目して、宗祖・教え・年代などを理解している。 (知・技) ①古代文明と主な宗教が起こった場所を示した地図から情報を取り出し、文明が起こった地域で宗教も起こっている共通点を考え、表現している。 (思・判・表) | ◎ | ○ | | ・ jarmboard ・ 振り返り ・ 行動観察 |

本時の学習

(1) 本時の目標

「ギリシャやローマの政治制度と日本の政治制度の違いは何か説明できる」

(2) 本時の学習展開

| 学習活動 | ○指導上の留意事項 | ◇評価規準（評価方法） |
|--|--|-------------|
| 1 既習事項の確認をする。（前時の振り返りをする。）【4分】 | | |
| <p>○前回の中国文明について確認する。 ○ギリシャやローマの文化について確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ICTの活用① モニターを使って前時の確認をし、オリンピックの起源や日本にギリシャ文化が広まったのは、聖闘士星矢が関係していることなどを説明する。</p> </div> | | |
| 2 本時のめあてを確認し、課題を発見・共有する。【6分】 | | |
| <p>○自民党総裁選挙や日本の選挙を例に出し、日本の政治の仕組みを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>情報の比較</p> <p>○ギリシャの選挙では奴隷には選挙権が無かったことを例に出し政治制度を比較する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>課題の設定</p> <p>○めあて・課題を書く。</p> </div> | <p>○総裁選挙は国民には選挙権が無いので、三原市長選挙などを例に挙げ、総裁選挙と市長選挙などとの差別化を図る。</p> <p>○ギリシャやローマの政治制度を全て言うのではなく、「奴隷」という既習事項を活かすことで、生徒のイメージを膨らませる。</p> | |
| <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;"> <p>【めあて】ギリシャ・ローマの政治と日本の政治の違いは何か説明できる</p> </div> | | |
| 3 本時の課題解決に向けて考える。【30分】 | | |
| <p>○地図帳を使い、ギリシャとローマの位置を確認する。</p> <p>○ポリスを例に挙げ紀元前8世紀の後半頃には立派な都市国家が完成していたことを確認する。</p> | <p>○位置が分からない生徒にはペアで確認し合うようにと指示をする。</p> | |

情報の収集

○ギリシャ班とローマ班に分かれ、個人又はペアで、教科書や資料集、chromebookを使い当時の政治制度や文化をについて調べ、jamboard に貼り付けていく。

ICTの活用②

jamboard を活用し、各班政治制度や文化についてまとめていく。

中心発問:「ギリシャやローマの政治と日本の政治の違いは何だろうか？」

整理・分析

○調べたことを班の中で共有し、ギリシャやローマの政治と日本の政治の違いをjamboard にグループごとにまとめる。

○今日の学習事項を黒板に整理し、ギリシャ・ローマの政治と日本の政治の違いを整理していく。

まとめ

- ・日本の政治制度は18歳以上の男女全てが参政権を持っていた。しかし、ギリシャでは市民と呼ばれる男性のみしか政治に参加できないなど日本の政治とは大きく違いが見られた。
- ・また、日本の政治制度は18歳以上の男女全てが政治に参加できるのに対し、ローマでは身分の高い市民や裕福な市民のみしか政治に参加できなかった。

○教科書と資料集を使い調べるようにと指導する。

【支援を必要とする生徒の手立て】
コミュニケーションが苦手な生徒には、適宜声掛けを行う。

◇古代ギリシャやローマ政治の仕組みや文化のまとまりを理解している。

(知・技)

(jamboard・行動観察)

◇古代ギリシャの民主政治やローマの共和政を日本の政治制度と比較し何が違うのか自分の言葉でまとめることができている。

(思・判・表)

A 基準

ギリシャやローマの政治は誰でも参加できるものではなく、日本は18歳以上の男女が政治に参加することができ民主政や共和政と日本の政治体制の違いが説明できている。

B 基準

ギリシャの民主政やローマの共和政の片方に触れ、日本の政治制度との対比を説明できている。

C 基準

ギリシャやローマの政治制度と日本の政治制度に触れることができていない。

4 本時の学習を振り返る。【5分】

まとめ・振り返り

○単元シートに今日の振り返りを記入させる。

(3) 板書計画

めあて:ギリシャやローマの政治と日本の政治制度の違いを説明できる。

◆都市国家の成立、アテネの民主政治

紀元前 8 世紀…多くの都市国家(ポリス)が成立

文化…ギリシャ神話、オリンピックなど

紀元前 4 世紀後半…マケドニアにアレクサンドロス大王の東方遠征

⇒ギリシャ文化が西アジアや内陸アジアに伝わる。

(ヘレニズム文化)

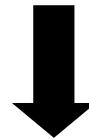
◆ローマ帝国の繁栄

共和制から前 1 世紀末に皇帝による統治に(帝政)

地中海を取り巻く大帝国に発展

文化…コロッセオ、水道橋など

現代の日本…満 18 歳以上の全ての男女に参政権。法律など物事は国会で決める。



ギリシャ 一般市民が政治に参加でき、物事は全市民が参加する民会で決めた。
ローマ 身分の高い市民や裕福な市民にのみ政治が任せられた。

(4) ICT 活用のポイント

必要な場面でのモニターでの資料提示や生徒が出た意見を集約しやすくするために jamboard を使用した。

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第1学年

社会（歴史分野）

単元名 「ギリシャ・ローマの文明」

～ヨーロッパでめばえた文明～

① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

古代文明から現代の生活に通ずるものは何だろうか？

② 単元を貫く問い（単元を通して考え深めていく「問い」）

世界各地で築かれた文明は、どのようにして誕生したのだろうか？

③ 個別の問い（単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- 1 人類はどのように出現したのか？
- 2 古代文明はどのような場所や環境で成立したのか？
- 3 3000年の歴史を持つ中国文明はなぜ発展できたのか？
- 4 ギリシャ・ローマの政治制度と日本の政治制度の違いは何か？
- 5 宗教はどのような場所や環境で成立したのか？

1 人類の出現、人類の誕生と進化過程と動物の胎まり
2 文明の誕生、メソポタミア文明、エジプト文明、インダス文明
3 中華文明、統一国家の誕生、朝鮮半島の国々
4 都市国家の成立、アテネの民主政治、ヘレニズム時代、ローマ帝国の繁栄
5 宗教の起こり、キリスト教、イスラーム教、ヒンドゥー教

単元計画の
構想を立てる